

Toyota Hands-On Museum

上坂監督、熱い思い語る

はやぶさ帰還シーンCGで再現

天文セミナー105人参加

11月20日、天文セミナーがプラネタリウムで開かれました。大人95人、子ども10人が参加しました。開催日数日前に探査機はやぶさの持ち帰った粒子が、小惑星イトカワ由来であると報道されたこともあり、開場前から参加者の熱気が伝わってきました。

講師は、プラネタリウム番組「HAYABUSA～BACK TO THE EARTH～」(12月19日まで放映)の映像の制作を指揮した上坂浩光監督。監督の探査機はやぶさや番組制作に対する思いを聞いたり、実際に帰還の瞬間に立ち会い、それを元に作成したCG画像を見たりしました。プラネタリウム番組で見たものとは違うリアルな画像に多くの参加者が感激していました。

参加者からは、「はやぶさが火花を散らして帰ってくるころ(CG画像)が一番良かったです。宇宙でのミッションをがんばりぬいたはやぶさの姿に感動しました。それを伝えてくれた監督、ありがとう。」(小学6年生男子)という感想がありました。



受付の様子



上坂氏

星空コンサート2010

曲と映像に感動

弦楽四重奏と合唱

12月4日、「星空コンサート2010～弦楽四重奏と合唱の調べ～」が行われました。出演は、愛知県室内オーケストラ 弦楽四重奏の4人と豊田市青少年少女合唱団グレイスの13人の皆さん。昼の部、夜の部とも、満席の中、おごそかな曲に合わせ、プラネタリウムならではの迫力ある映像が浮かび上がり、観客は静かに聴き入っていました。

初めて当館のプラネタリウムを訪れたという女性から、「曲を解説、進行していた方に好感をいただきました。星空解説をしていた方の温かさ、優しさが伝わり、とても感動しました。短い一時でしたが、心清らかになりいろいろな思い出がかけめぐり、すべてに感動して涙しました。日常では、遠い距離にあると思われたプラネタリウムに少し近づけたことをうれしく思いました。」と感想がありました。



星空を見上げて⑤

2月は、お月さまに注目！

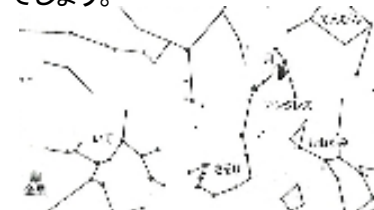
夜更けの明星として夜空を飾る木星が、宵の西の空で見られるようになってきます。2月7日には、木星の北側に月が近づいて並ぶ様子が見られます。望遠鏡でながめると、木星本体の横じま模様やガリレオ衛星の変化に興味をひきつけられます。

月も石膏を流したような凸凹のクレーターが手にとるように見えて、その美しさに見とれてしまいます。おわん形に見える三日月と明るい木星の組み合わせは、私たちの目をひきつけることでしょう。

2月7日は、木星と接近、2月下旬はアンタレスに近づく



2月7日午後7時ごろ西の空



2月25日午前5時ごろ南の空

2月下旬になると、明け方の東から南の空には夏の星座が昇ってきています。午前4時ごろの南の空には、S字の形をした夏の代表的な星座のさそり座が昇り、素晴らしい姿を見せてくれています。

さそり座は、S字の形から魚釣り星、鯛釣り星などの和名があります。また、赤さが目立つさそりの心臓にあたる1等星のアンタレスにも日本各地で名前がつけられており赤星、豊年星、酒酔い星と呼ばれています。アンタレスの北西に下弦の月が近づき、並ぶ姿が見られます。さそり座の東よりには明けの明星の金星も昇るので、あわせて見るができます。

くわしくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikan.jp>

とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007 / FAX (0565)37-3012